

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立東与賀中学校
1 前年度 評価結果の概要	総合評価A…未達成の項目はあるが、『学び合い』と開発的生徒指導による教育活動の成果がさらに定着してきており、職員集団も同じ目標で取り組むことで、より多くの生徒が安心して過ごすことができる学校になってきている。 ・令和5年度に引き続き『学び合い』、開発的生徒指導により、生徒が自発的に取り組む場を仕組むことで主体性を伸ばしてきた。わからないことは、はずかしいことではない。それを乗り越えることが大事。よって、社会の中でわからないと言え、尋ねることができ、言いたいことが言えること、今後もこのような力を身に付けさせることが大事と考える。 ・業務改善・教職員の働き方改革の推進については校時限、学校行事、部活動、会議等の工夫をし、職員が時間を意識し計画的に業務に取り組むようになった。しかし、実際の業務量が多く、時間外勤務の削減は難しかった。時間や業務内容について、子どもを中心に据えた上でのさらなる精選を行う。
2 学校教育目標	「凜」とした元気・感動・温もりのある学校～夢実現に挑戦し努力する生徒の育成～
3 本年度の重点目標	①『学び合い』の視点を取り入れた、確かな学力の育成 ②「考え、議論する」ことにより道徳性や豊かな心を育む ③『学び合い』や開発的生徒指導を通して、主体性を育む

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	○「分かる授業」を目指した、指導方法・評価方法の工夫改善の推進	○先生は、私たちが分かりやすい授業を目指して工夫していると思う生徒93%以上 ○学校は、生徒が分かりやすい授業をめざし、学習内容や指導方法を工夫していると思う保護者80%以上	・校内研究において『学び合い』の研修と実践 ・教科・領域の授業改善、指導力向上を目指した外部講師招聘等を織り込んだ校内研究会の定期開催 ・一人1回以上の研究授業実施					研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業で自分のことや友だち、家族のことをじっくり考えることができていると思う生徒93%以上 ○道徳の授業や立志式などを通して、心を育てる教育を行っていると思う保護者88%以上	・話し合う時間の設定 ・学年合同や異学年合同で多様な考えに触れる場の設定 ・教員の指導力向上を図る、全学級での道徳授業実践の相互参観					道徳担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○私はいじめゼロをめざした取組を行っていると思う生徒100% ○学校は、いじめをなくし命を大切にしていると思う保護者90%以上 ○いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた取組を行っていると思う教員100%	・毎月の「いじめ・いのちを考える日」の取組と「生活アンケート」の実施 ・各種調査等によるきめ細かな生徒の実態把握 ・学年⇄生徒指導部の連携した組織的対応と、早急な対応による事案の解決					生徒指導主事
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標をもっている」について肯定的な回答をした児童生徒78%以上 ◎自分の子どもは、将来の夢や目標をもっていると思う保護者70%	・『学び合い』の授業や学校行事などにおいて、生徒が主体的に活動する場面を設け、全職員による開発的生徒指導を実践(生徒の出番と承認の場面の設定など) ・「特別な教科道徳」、「社会人に学ぶ」、「職場体験」の実施による、実社会に即した話を聞いたり、体験活動をしったりする機会の設定					研究主任 道徳担当 総合的な学習の時間
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ④「安全に関する資質・能力の育成」	②学校は、望ましい生活習慣を身に付けさせるための指導を適切に行っていると思う保護者85%以上 ③「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・保健便り等を通じた、朝食喫食率の向上、早寝早起きの意義の理解と啓発 ・朝食を「とらず」に登校する生徒の保護者への連絡、保護者面談での協力要請 ・PTAの委員会活動との協同 ・毎月1回の安全点検実施 ・職員・生徒の危機管理意識の向上のための避難訓練(年2回)の実施 ・健康増進と体力向上を目指した適度な運動の奨励					②③養護教諭 ④安全担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・現状把握と対策の検討、働き方改革の周知のための健康管理委員会の実施 ・定時退勤日の設定、実施 ・職員会議等の協議内容を精選し、ペーパーレスにして終了時間を意識した業務改善 ・年休取得可能な日時を設定する。また、行事や週時間割等の提案をできるだけ早くし、見直しをもって年休取得ができるようにする。					教頭
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上したと思う教員75%以上	・特別支援に関する研修会の1回以上実施及び定例会議・研修時のプチ研の実施 ・ケース会議の開催、情報共有					特別支援コーディネーター

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価 評価 意見や提言
○魅力ある学校づくり	○行きたい学校、行かせたい学校づくり	○東与賀中学校へ入学してよかったと思う生徒85%以上 ○東与賀中学校へ自分の子どもを通学させて良かったと思う保護者85%以上	・上記全ての取組(再掲)						教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	
--------------------	--